

筑前町 学校教育推進R2



確かな学力

志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子どもの育成



豊かな心

健やかな体

信頼される学校づくり

7

教職員の資質向上と人材育成

6

人権教育の推進

5

特別支援教育の充実

4

いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

3

心づくり・体づくりの推進

2

確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

1

地域とともにある学校づくりの推進

筑前町教育委員会

1 地域とともにある学校づくりの推進

指標 児童生徒、保護者の学校満足度：80%（アンケート）

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）では

- ・ みんなでよく話し合う（熟議）
- ・ 目標に向かって、一緒に活動する（協働）
- ・ 校長を中心に、人をつなぎ、学校組織としての力を引き出す（マネジメント）

熟議・協働・マネジメントを通して、**地域一体**となって子どもたちを育てていきます



三輪中学校区の取組

「小中合同運営協議会」

「草場川へおいで」（小中連携事業）の協議

- ・ 知の活動（小中合同サマースクール）
- ・ 徳の活動（蛍の幼虫の放流）
- ・ 体の活動（小中体力テスト記録会）

「草場川へおいで」（小中連携事業）



小中合同サマースクール



小中体力テスト記録会



蛍の幼虫の放流

夜須中学校区の取組

「地域と一体となった教育活動の実施」



地域（助産師）の方を招いての「命の授業」



学校運営協議会主催による安心・安全集会



地域参加の運動会



放課後の居場所づくり
(中牟田小アフタースクール)

共通した取組



- 授業と連動した家庭学習を工夫します。
- 小中学校が連携した「家庭学習強化週間」を設定して、学習習慣の定着をめざします。

- 各中学校区毎に、学習規律の定着やスマートフォン等の適切な取扱いに対する取り組みを推進します。
- 児童生徒が主体となる取り組みを推進します。
- 保護者等と連携した特色ある取り組みを推進します。

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

指標④全国並びに県の学力調査の各教科の平均正答率が、小・中学校とも全国・県の正答率を上回る

『筑前町学力向上推進プランR2』を推進します

令和元年度までに実施された全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の結果並びに町教育支援大綱を踏まえ、『12』の施策を重点に児童生徒の学力向上を図ります。

筑前町学力向上推進プランR2

子どもたちの未来を拓く確かな学力の育成

○基礎的・基本的な知識・技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○主体的に学習に取り組む態度

令和2年度 筑前町学力向上施策の具体

家庭との連携

規範意識の育成

- ・約束やきまり ・挨拶と返事
- ・言葉の遣い方 ・思いやり、感謝

家庭学習の習慣化

- ・家庭学習強化週間の協働
- ・家庭での声掛け、確認、賞賛
- ・基本的な生活習慣の定着

地域との連携

放課後学習の実施

- ・アフタースクールの開催

授業づくり

主体的・対話的で深い学びを意図した
**「わかった・使えた・役立ちそう」を
子どもが実感できる授業**

- 「どのようにして」「何ができるようになるのか」子どもの姿を明確にして授業を行う。
- 課題に対する自分の考えを、根拠・理由を明確にして説明し合い、見直す場を設定する。
- 思考力等を発揮する問題に挑戦する場を設定する。
- 授業評価をもとに、授業改善に努める。

教員の意識・指導力の向上

実態に即した校内研修の充実

- ・授業公開を伴う研修の実施
- ・専門性を高める一般研修の実施
- ・外部からの指導助言の活用

小中合同研修会の開催

- ・実態分析（学力、学習規律等）
- ・改善の方向性を確認
- ・授業公開と整理会

学力の基盤づくり

挑む活動の実施

- ・目標設定→過程を記録
→ふり振り返り

個に応じた指導の充実

- ・D層への補充学習
- ・つまずきに応じた支援

指導方法の工夫

- ・習熟度別少人数学習の実施
- ・ICT機器の活用

各種調査結果の活用

- ・町全体の調査結果を分析
- ・関係施策の評価（成果と課題）
- ・改善の方向性を提示
- ・学校、地域への情報提供

教育委員会の支援

研修会の充実

- ・経験年数、職種に応じた教職員を対象とした町独自の研修会の実施

英語力向上事業の実施

- ・ALT5名配置
- ・English Workshop
- ・英検受験への補助（中学生）
- ・英語スピーチコンテスト

規範意識の醸成

- ・規則を尊重する意識が低い。
→規則の意義を理解すること。
相手意識を育成すること。

令和元年度
全国学力・学習状況調査及び
福岡県学力調査等に基づく課題

授業力向上のための 検証改善サイクルの確立

- ・平均正答率の学校格差が大きい。
→授業評価を活用した授業改善。

家庭学習の定着

- ・学校以外での学習時間が1時間未満の子どもの割合が多い。
→学校・家庭・児童生徒で家庭学習の必要性を共有すること。

「挑む力」の醸成

- ・自己肯定感、達成感、挑戦心が低い。
→自治的な活動に取り組みさせること。
過程を認め、ほめること。

個に応じた指導の充実

- ・A層が少なく、B層及びC層が多い。D層は減少傾向にある。
→個人のつまずきを把握し、適切な支援を講じた授業を行うこと。

三輪中・夜須中 アフタースクールの実施

■ 高度な専門性、指導力及び豊富な経験を有する外部講師による放課後学習を、毎週2回、2教科、各中学校で実施します。



夜須中(火・木)三輪中(水・金) 指導者: 英語3名 数学3名				
1年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	①
活用講座	英語	数学	20名	②
2年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	③
活用講座	英語	数学	20名	④
3年	1校時 19:30~20:20	2校時 20:30~21:20	受講者	教室
基礎講座	数学	英語	20名	⑤
活用講座	英語	数学	20名	⑥

※時期によっては、時間帯を変更する場合があります。

ALT (5名) を活用した 英語・外国語活動の充実

■ 5名のALTを各学校に配置し、小学校外国語活動(5・6年生70時間、3・4年生35時間)及び中学校外国語科学習の充実を目指します。



English Workshop イギリス ワークショップ の実施

■ APU(立命館アジア太平洋大学)の留学生と交流し、英語に親しみ、慣れることで英語コミュニケーション力を鍛えます。
小学校(6月: APU)
中学校(5月: 各中学校/11月: APU)



APUを会場に、海外からの留学生が直接指導

英語環境の充実 英語スピーチコンテストの実施 英語検定試験の実施

■ 生徒の発話量を確保した授業づくりや英語による校内放送やなど、生徒が英語に触れる機会を充実させるための環境整備を図ります。

■ 筑前町英語スピーチコンテストを実施します。

■ 全中学生を対象に英語検定試験を実施します。

第1回筑前町
中学生英語スピーチコンテスト

出場者募集!

2019年10月13日 14:00~

場所: コスモスプラザ 締切: 9月20日

対象: 小学校6年生
(お友達での応募)
・中学生(2019年2月)

提出先: 各学校
筑前町教育委員会
事務局(2019年)

部門: 6年生: 「This is Me!」(4~6文)
中学生: 演題自由(制限は3分以内)

審査方法: 内容、正確性、発音、表現などを審査員が審査します

審査方法: 6年生: 順位はありませんが、中学生: 優勝1名、準優勝1名



筑前町英語スピーチコンテスト

令和元年度
英検取得状況

英検3級以上取得(中3)	41.4%
英検4級以上取得(中2)	62.4%
英検5級以上取得(中1)	71.4%

3 心づくり・体づくりの推進

指標☞児童生徒質問紙「夢や希望や目標を持っている」において肯定的な平均回答率が全国平均を上回る
 指標☞体力アップシート チャレンジ達成児童数：100%(小学校) 実施生徒数：100%(中学校) (実施調査)

キャリア教育で、「夢や志」を育み、自尊感情を高めます。

- 「夢や志を育む筑前っ子育成プラン」を踏まえ9年間を見通したキャリア教育に取り組み、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます。



4年生 2分の1成人式



4年生 2分の1成人式



中学校体験入学 授業風景



中学校2年生 立志式



中学2年生 職場体験



中学2年生 職場体験

食育の推進、体力・運動能力の向上に取り組めます。

- 児童生徒が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育てられるよう、学校教育活動全体を通じて、総合的に食育を推進します。

- 日常的に運動を楽しみ、自ら体を鍛える児童生徒を育てるために、体育科学習、体育的行事等の取組を充実します。

➤ 教科、道徳、特別活動等の指導を充実します。

- 家庭や地域と連携し、体験活動を取り入れた授業を工夫します。
- 栄養教諭、養護教諭の専門性を生かした授業を実施します。



「弁当の日」の取組

➤ 学校給食の充実を図ります。

- 全校のランチルームに食育コーナーなどの環境を充実します。
- 毎月初めの「和食の日」、19日の「食育の日」を充実します。
- 第3次筑前町食育推進計画を踏まえ、食育の充実に取り組めます。
- 「筑前町学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく食物アレルギーへの適切な対応を行います。



➤ 体育科学習、体育的行事等の指導を充実します。

- 体育科学習における運動量の確保を前提とした授業づくりを行います。
- 自己やチームの目標に向かって粘り強くチャレンジする授業、達成感や満足感を育むような体育的行事を行います。
- 教育活動全体を通して体力向上に取り組めます。
 - 「1校1取組」「体力アップシートの活用」「外遊びの奨励」「スポコン広場への参加」等を通して、体力向上に取り組めます。



「駅伝大会」
～中学生の支援～



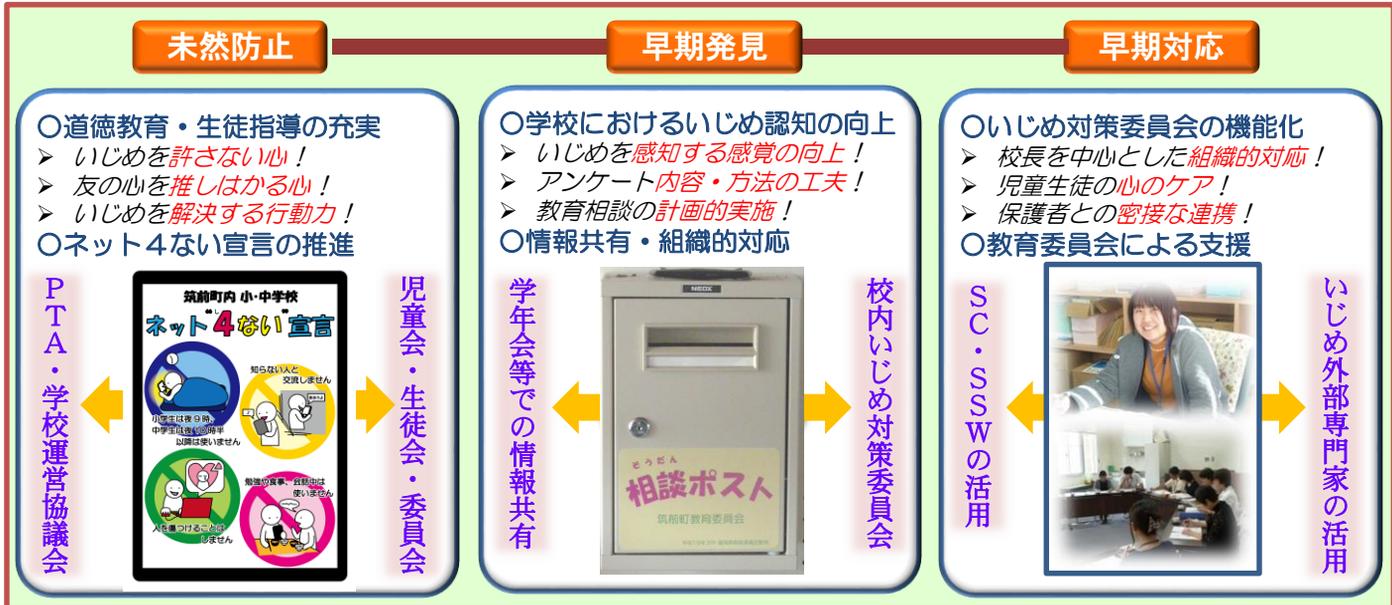
「みわりんピック」

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

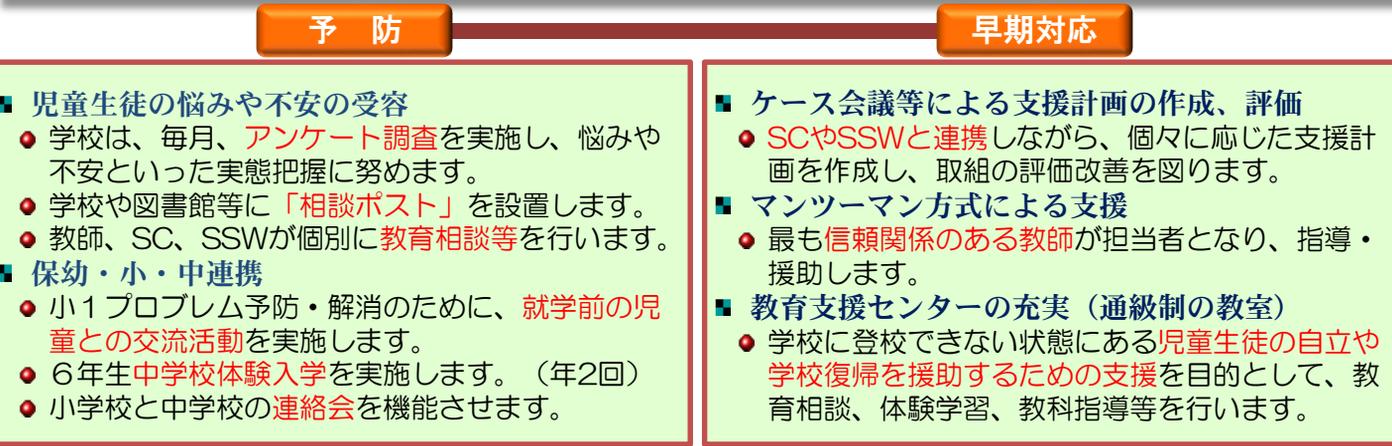
指標 ▶ 学校でのいじめ発見率：80%（実態調査）
不登校児童生徒の復帰率：30%（実態調査）

いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます

「福岡県いじめ防止基本方針、筑前町いじめ防止基本方針」を活用し、教職員間の共通理解を図ります。
※SC：スクールカウンセラー SSW：スクールソーシャルワーカー



不登校の予防・早期対応に取り組みます



人的支援を行います

児童生徒や保護者、教職員の心のケアを行ったり、児童生徒の安全確保のための点検・指導を行ったりする人材を、県費に加え町費でも雇用し、派遣します。

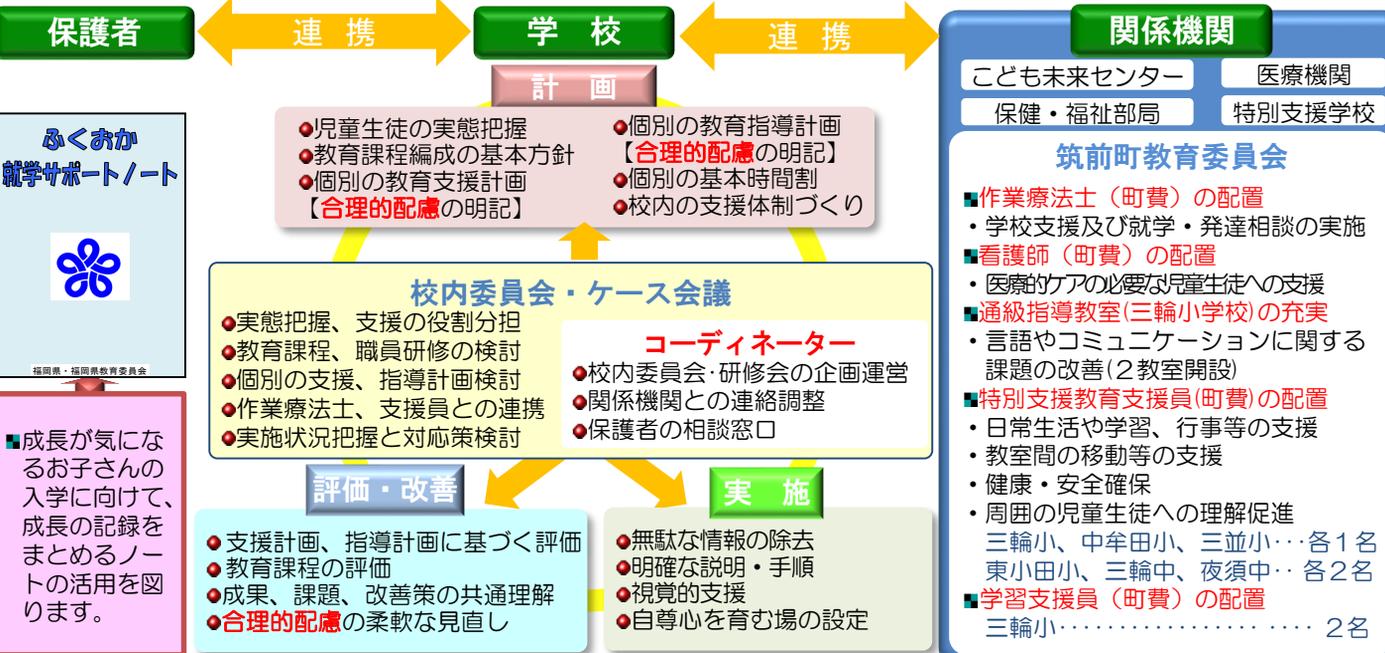
学校名	スクールカウンセラー(SC)	心の相談員	スクールソーシャルワーカー(SSW)	スクールガードリーダー
三輪小学校	1名 4h × 35週 (町費)		<ul style="list-style-type: none"> ● 教育課に所属します。 ● 主に次の業務を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 問題を抱える児童生徒への面接及び情報収集と環境への働きかけ ▶ 関係機関とのネットワークの構築、連携及び情報提供、学校及び保護者等に対する支援、相談及び情報提供 ▶ 学校内におけるチーム体制の構築及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間550時間活動します。 ● 主に次の業務を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童生徒への安全・防犯指導 ▶ 登下校時の通学路の巡回指導 ▶ 不審者情報等緊急時の巡回 ▶ 通学路危険箇所の点検、対応指導
東小田小学校	1名 4h × 35週 (県費)			
中牟田小学校	1名 4h × 35週 (町費)			
三並小学校	1名 4h × 35週 (町費)			
三輪中学校	1名 4h × 35週 (県費)	1名 (町費)		
夜須中学校	1名 4h × 35週 (県費)	1名 (町費)		

5 特別支援教育の充実

指標☞指導主事等講師を招聘した校内研修会の実施：各学校1回（実施報告）

関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援します

- 学校が、保護者や関係機関と一体となって、組織的、計画的、効果的に児童生徒一人一人の自立と社会参加を支援します。
- 一人一人の教育的ニーズ等に応じた**合理的配慮**を提供します。
- 作業療法士**が各学校を訪問し、学校支援、保護者への就学・発達相談を実施します。

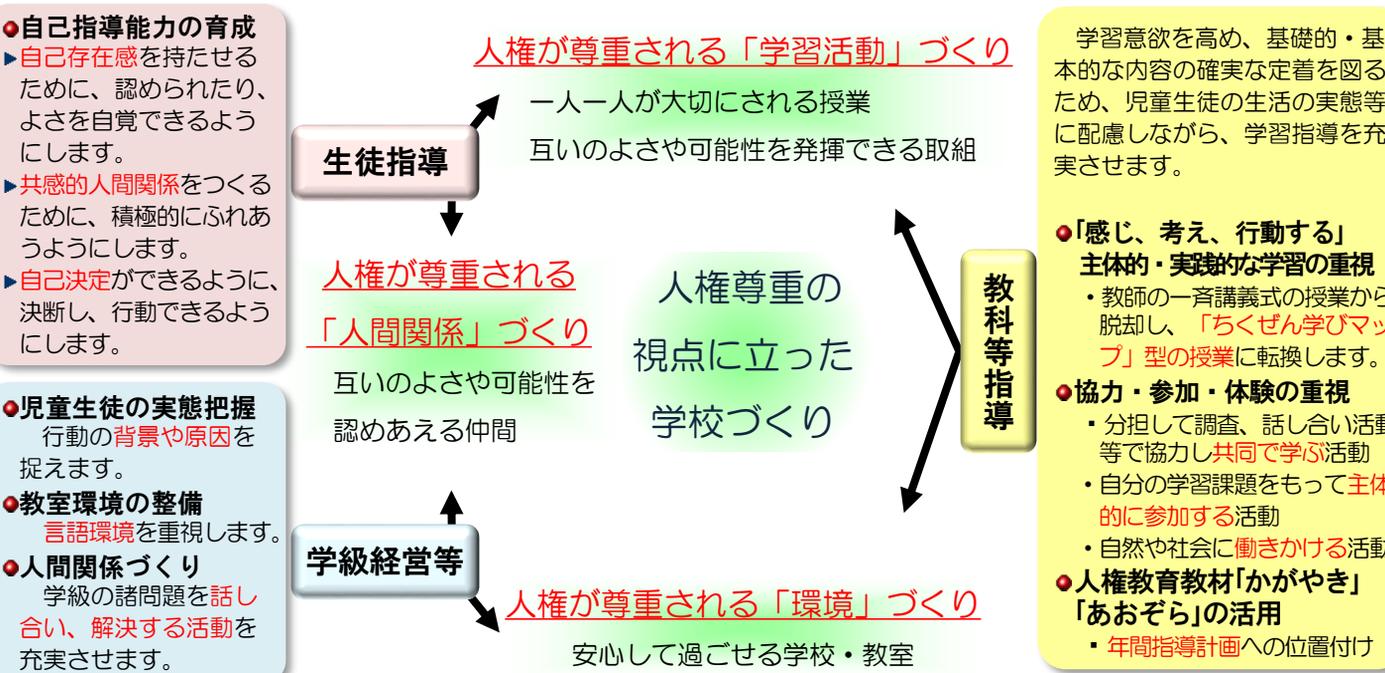


6 人権教育の推進

指標☞人権が尊重される「学習活動」づくりに関する校内授業研修会の実施：各学校1回（実施報告）

学校の教育活動全体を通じた人権教育を組織的に推進します

- 人権が尊重される「学習活動づくり・人間関係づくり・環境づくり」に取り組みます。
- 「個別の人権課題に対する取組」や「いのちの授業」の充実を図ります。
- 研修等を通して、教職員の人権認識・人権感覚の向上に努めます。



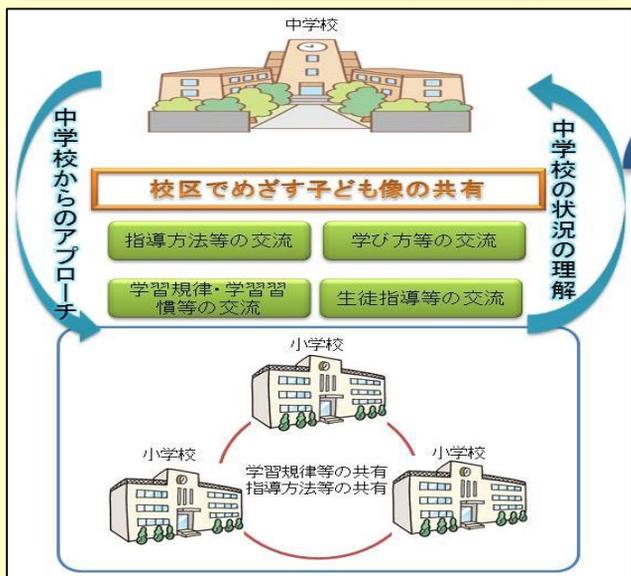
7 教職員の資質向上と人材育成

指標 筑前町教職員研修の対象者の「自己評価」の学習指導に関する評価：A以上60%（自己評価）

中学校区ごとの小中合同授業研修会を充実させます

各中学校区で設定した目標をもとに、小中連携（一貫）教育を担う教育活動を焦点化し、9年間を見通した特色ある教育活動を推進します。また、小・中学校間で授業を公開し、小・中学校の系統性を踏まえた指導の在り方を明らかにします。

9年間を見通した系統的な指導



小中合同授業研修会

【授業研究】授業公開を伴う研修会を通して、教科等に関する指導力を確保しながら、小・中の連続した学びを充実させていきます。

小中学校教職員による合同の協議会



筑前町教職員研修を充実させます

教職員の経験年数やキャリア、職務内容に応じた研修を行い、実践的指導力を磨き、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みます。

経験年数に応じた研修

初任者研修

- 不祥事防止等、服務に対する認識及び人権認識・人権感覚の向上を図ります。
- 教育センター指導主事によるメンタルヘルスを行います。

スキルアップ研修（教職経験2～5年経過教員研修）

【授業研究】管理職並びに指導主事による直接指導（事前指導を含む）を受ける研究授業を通じて、教科等に関する実践的指導力の向上を図ります。

グロウイング・アップ研修（教職経験6～10年経過教員研修）

【授業研究】管理職または指導主事による直接指導を受ける研究授業を通じて、教科等に関する実践的指導力の向上を図ります。

筑前町主題研修（教職経験11～25年経過教員研修）

【主題研究】教科等の学習指導の改善のために必要な課題を研究主題として設定し、実証的活動を通して、教材開発や指導方法等の効果を明らかにします。

エキスパート研修（教職経験26年以上経過教員研修）

【教育実践研究】教育活動の実践を論文等にまとめ、ベテラン教員の優れた教育実践の普及を行い、若年教員の育成を図ります。

職務内容に応じた研修

筑前町教頭研修会

筑前町教務主任研修会

筑前町管理職等研修会

ICT活用教育担当者研修会

特別支援教育担当者研修会

特別支援教育支援員等研修会

